

湖・川が育む 水との暮らし



舟の模型
(吉地薬師堂遺跡:12~13世紀)



「魚」が刻まれた青磁の坏
(江部遺跡:13~14世紀)



船(船)と書かれた墨書土器
(北桜遺跡:8~9世紀)



水をくむ井戸
(小篠原遺跡:8世紀)



かたしろ
舟形代
(西河原森ノ内遺跡:7世紀後葉~8世紀)



船形埴輪
(新開4号墳:古墳時代、
栗東歴史民俗博物館蔵)

共催:
栗東市教育委員会

2026
10.3^土~11.23^{月・祝}

10月10日^土「木製品から見た西河原遺跡群~農耕具を中心に~」

講演会 14:00~16:00 講師:阿刀 弘史氏((公財)滋賀県文化財保護協会主幹)

10月17日^土「稲作が伝わったころー近江の弥生時代ー」

講演会 14:00~16:00 講師:伊庭 功氏(元 滋賀県立安土城考古博物館学芸課長)

10月31日^土「湖・川が育む水との暮らし」

講演会+展示解説 14:00~15:30 講師:渡邊 貴洋(当館学芸員)

11月7日^土 古代米脱穀体験~臼や杵、唐箕を使ってみよう~

関連イベント 14:00~15:30

入館料

区分	大人	高・大生	小・中学生
個人	300円	150円	100円
団体 (有料20名以上)	250円	100円	50円
野洲市民 (市民であることの証明書要)	無料	無料	無料
当館友の会	無料	無料	無料

※障害者手帳等の交付を受けている方及び
その付き添いの方(1名まで)は無料
※団体は事前申し込みが必要

SNSも
始めました!

野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館) 〒520-2315 滋賀県野洲市辻町57番地1

●開館時間/9:00~17:00

(入館は16:30まで)

●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日



@dotaku_museum



dotaku_museum



野洲市



湖・川が育む 水との暮らし

野洲市は、野洲川と日野川を利用した水田農耕や琵琶湖の漁労を基盤として、水との深いかわりの中で発展し、固有の歴史文化を育んできました。野洲川下流域では肥沃な大地をもとめた人々の定住化が古くから進む一方、水害にも度々見舞われたことから恩恵や畏敬の思いが受け継がれています。

本企画展では出土文化財・民俗資料に近隣市の関連資料を加え、野洲市の特性を紹介します。



～水の恩恵・漁～



～水の利用・稲作～



～水を引き込む工事～

～水の確保・井戸や貯蔵～



～水と戦った人々～



～水と交通 遠隔地から運ばれたもの～



～水と祈り・まつり～



～水と現代～

第1回

講演会

「木製品から見た西河原遺跡群～農耕具を中心に～」

10月10日(土) 講師 阿刀 弘史氏
(公財)滋賀県文化財保護協会主幹

第2回

「稲作が伝わったころー近江の弥生時代ー」

10月17日(土) 講師 伊庭 功氏
(元 滋賀県立安土城考古博物館学芸課長)

講演会+展示解説

「湖・川が育む水との暮らし」

10月31日(土) 講師 渡邊 貴洋 (当館学芸員)

時間 14:00~15:30 定員 先着120名
集合場所 博物館1階研修室 費用 無料(要入館料)

関連イベント

申込不要

古代米脱穀体験 ～臼や杵、唐箕を使ってみよう～

11月7日(土) 時間 14:00~15:30

集合場所 博物館エントランス 費用 無料(要入館料)

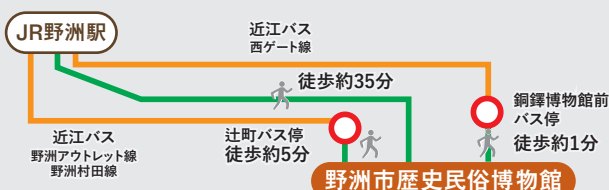
野洲市歴史民俗博物館



公共交通機関



自家用車



名神高速自動車道(栗東IC・竜王IC)から
国道8号線経由約20分

無料駐車場完備。施設駐車場の数には限りがあります。

